

日本小児科学会医療安全委員会主催

第7回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コースの報告

開催日：2018年6月23日（土）13：30～17：00

開催場所：あいち小児保健医療総合センター

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目426番地

参加費：11,000円（1施設あたり）

参加者数：38名（12施設）

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師13名、看護師12名、放射線技師13名

参加施設：岐阜大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、藤田保健衛生大学、大同病院、
岐阜県立多治見病院、海南病院、名古屋第一赤十字病院、あいち小児保健医療総合センター、
公立陶生病院、春日井市民病院、名古屋記念病院、名古屋医療センター

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説とオリエンテーション）

第2部（50分）：シミュレーション実習（蘇生人形を用いた実践型訓練と振り返り）

第3部（70分）：アクションプランを立てよう（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（45分）：発表・質疑応答（アクションプランの発表、全体で意見交換）

コースの実践：第1部は全員にレクチャー形式でコースの目的と共同提言の要点を伝える場とした。第2部は4つのグループに分かれて、シミュレーション/ディスカッション形式で行った。同一施設の医師、看護師、放射線技師が3人1組でシナリオシミュレーションを行い、振り返りの場で、自施設の課題や解決策を多職種で協議する場を提供した。第3部は、自施設の改善したい課題を1-2つ挙げて具体的な解決策の立案を目指すワークショップ形式で行った。ファシリテーターは実現性が高くなるように助言や討論の場を提供した。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。本コースを通して、他施設の現状を知ることで自施設の強みや弱みが明らかになり新たな気づきを得る機会を提供した。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.29（最低1-最高6）、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.32（同）、「多職種での参加は良かったか？」5.76（同）であった。自由記載には、自施設のMRI環境を他施設と比較できて問題点が把握できた、多職種で様々な意見交換ができて参考になったなど、本コースの参加形態が受講生の満足度に繋がっていた。一方で施設間の取り組み状況にバラツキがあり、環境整備が進んでいる施設からはコース内容に一部物足りなさを感じたという声もあった。

コース運営と今後の取り組み：1. 第8回 SECURE コースは九州での開催を予定しており、九州の関連施設の医療安全委員会宛に通知予定（開催予定：2018年12月頃、開催場所：九州大学）。2. 「小児科専門医研修施設におけるMRI検査時鎮静の現状」を参考に共同提言の改訂を開始した。

http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=98